

各 位

2013年9月9日
 サイバネットシステム株式会社

ダイレクトモデラーだからできる、設計・製造現場での開発力 Up 『SpaceClaim 特別セミナー』 開催のお知らせ

【参加無料！】

トヨタ自動車株式会社及びパナソニック 株式会社による
 活用事例の発表を中心に、開催いたします

- ・ 10月8日(火) 愛知県刈谷市
- ・ 10月11日(金) 東京 秋葉原

サイバネットシステム株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：田中 邦明、以下「サイバネット」）は、『SpaceClaim(スペースクレイム)特別セミナー』を10月8日(火)に愛知県、10月11日(金)に東京にて開催することをお知らせいたします。

SpaceClaim は、直感的な操作環境と各種 CAD とのダイレクトなデータ連携により、コンセプトデザイン環境やコンカレント・エンジニアリング業務を改善する 3D ダイレクトモデラーです。「SpaceClaim Engineer」は、2007年のリリース以来、自由で直感的な操作性の高さとダイレクトモデリング手法で実現する豊富な機能から、開発・設計・生産・製造の現場はもとより、企画や営業部門など広範な業務で活用されております。2012年末には、アメリカ航空宇宙局(NASA)の情報媒体誌である NASA Tech Briefs (ナサテックブリーフス)において、第18回 Readers' Choice 賞 2012 を受賞するなど、直感的な操作性と豊富な機能群が高く評価されております。

この度、日本において二度目の特別セミナーが愛知県及び東京で開催いたします。

基調講演には、元三菱電機株式会社で数多くの 3D-CAD 及び CAE の利用普及教育活動に携わり、現在は 3次元 CAD と CAE を適用した設計のフロントローディングのエキスパートとして多数の著書や講演活動に従事されている TMEC 技術士事務所代表の遠田 治正氏に、『SpaceClaim ～ユーザー側から見たその効用～』と題してご講演いただきます。また、ユーザー様からの特別講演として、トヨタ自動車株式会社及びパナソニック株式会社から活用事例を発表いただく予定です。

SpaceClaim ユーザーの皆様のみならず、3D-CAD を有効活用するための施策をご検討の皆様にもお勧めできる内容となっております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要

日時

日 程	開 催 地	会 場	時 間	定 員
10月8日(火)	愛知県 刈谷市	刈谷市産業振興センター http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/	13:30～17:10 (13:00 受付開始)	100名
10月11日(金)	東京 秋葉原	富士ソフトアキバプラザ http://www.fsi.co.jp/akibaplaza/cont/info/access.html		120名

お知らせ

対象

製造業各社・各種研究機関/団体で、以下のような業務に携わる方

- 3D-CAD を業務でご利用の製造業の方
- 設計・解析・製造現場などにおいて、工程効率化・品質向上・コスト削減などの課題をお持ちの方
- SpaceClaim のユーザー様、または導入を検討されている方

※ 競合製品取り扱い企業並びに個人でのお申し込みは、ご遠慮いただいております。

お申し込み方法

事前登録制のため、以下の専用 Web サイトからお申し込み下さい：

http://www.cybernet.co.jp/spaceclaim/seminar_event/seminar/special2013.html

主な講演内容

【基調講演】

『SpaceClaim ～ユーザー側から見たその効用～』

TMEC 技術士事務所 代表
遠田 治正 氏

基本設計段階以前では、自分のイメージをツールの操作に煩わされることなく作り上げることができる 3D モデリングツールが欲しいものです。また CAE 解析の際には、既に作成した 3D モデルを解析用に自在に修正できる機能が重要です。

これら両方のニーズを満たしてくれる解が SpaceClaim です。本講演では、SpaceClaim の長所、短所を自分なりに分析した結果についてご紹介し、導入・利用推進をお考えの立場の方々のご参考になればと考えております。

【適用事例発表】

『Panasonic グループにおける SpaceClaim 活用事例のご紹介』

パナソニック株式会社 開発・設計グループ CAE 活用チーム
小西 氏

パナソニックグループでは、デバイスから家電製品、住宅設備まで幅広い製品を取り扱っており、製品設計には多様な CAD ツールを利用しております。その中で、全社の CAE 活用を促進する自部門において、3D モデル修正を中心に SpaceClaim を活用することで、解析作業の効率化を図っております。また、CAD ツールを利用していない研究部門や電気設計者においては SpaceClaim の扱いやすさを活かし、効率的な CAE 活用を実現しております。その中での課題や工夫点を中心に事例をご紹介します。

【適用事例発表】

『SpaceClaim によるトヨタ HV 開発の CAD 活用促進』

トヨタ自動車株式会社 HV 先行開発部 プロフェッショナル・パートナー
梅村 厚 氏

弊社では基幹 CAD に CATIA V5 を用いておりますが、新規性が高く、試行錯誤を要する HV ユニット設計には柔軟性が低く、CAD を使えない設計者が増えてまいりました。この対策として CATIA と相互運用可能な SpaceClaim に注目し、検証・実設計適用を進めてまいりました。その結果多くの設計者が、CATIA より効率化が図られ、CAD 作業力復活を実感する効果を上げました。この事例をご紹介しますと共に、今後の SpaceClaim への期待をお話いたします。

※内容は変更となる場合があります。

お知らせ

本セミナーの詳細については、下記Webサイトをご覧ください。

http://www.cybernet.co.jp/spaceclaim/seminar_event/seminar/special2013.html

SpaceClaim 社について

SpaceClaim 社は、2005 年に米国マサチューセッツ州で設立され、2007 年より SpaceClaim の出荷を開始しています。SpaceClaim 社の開発チームは、CAD 業界で重要な役目を果たしてきたメンバーが率いており、これまでにない最先端のユーザインタフェースと柔軟なモデリング機能を持つツールとして評価が高く、これまでに全世界で 400 社以上に採用されています。

詳細は下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.spaceclaim.com/ja/default.aspx>

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特に CAE（※）関連の多岐にわたる先進的なソフトウェアソリューションサービスを展開しており、電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、医療、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。具体的には、構造解析、射出成形解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、電子回路設計、汎用可視化処理、医用画像処理など多様かつ世界的レベルのソフトウェアを取扱い、様々な顧客ニーズに対応しております。

また、企業が所有する PC/スマートデバイス管理の効率化を実現する IT 資産管理ツールをはじめ、個人情報や機密情報などの漏洩・不正アクセスを防止し、企業のセキュリティレベルを向上させる IT ソリューションをパッケージやサイバネットクラウドで提供しております。

詳細は下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

※CAE (Computer Aided Engineering) : 「ものづくり」における研究・開発時に、従来行われていた試作品によるテストや実験をコンピュータ上の試作品でシミュレーションし分析する技術です。試作や実験の回数を劇的に減らすと共に、様々な問題をもれなく多方面に亘って予想・解決し、試作実験による廃材を激減させる環境に配慮した「ものづくり」の実現に貢献しております。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

- 内容について
ADS 第 1 事業部/廣瀬、日向(ヒナタ)
TEL : 03-5297-3247 E-MAIL : scsales@cybernet.co.jp

- 報道の方は
広報室/春日
TEL : 03-5297-3066 E-MAIL : irquery@cybernet.co.jp